

## はじめに — 「老人とチェロ…憲法九条への思い」

なんと、ものものしい題名なることか…！

「老人」「チェロ」そして「憲法九条」、このいずれもが巨大なるテーマであるにもかかわらず、それらを関連させている「この題名」は、なんたることか…!!

いやいや、単に自然に年をとってきた一人の人間が、時折チェロにタッチし、軍国少年の頃の思い出との関わりで、特に憲法九条を大切にしたいという気持ちにすぎない。もっと単純に言えば、今を生きている「一老人の日記」メモみたいなものである。

2015年は、憲法九条の問題とともに何かと心配される政治、経済、社会状況にあるという世の中で、個人的には傘寿記念という節目として自分自身の存在を意識するための一つの手段としての行動にすぎない。

それは、『山と音楽』（2010年出版）で終了予定であったが、2014年3月、「九条ブックレット」を作成したことから、ぜひこの冊子の趣旨も再び生かしたい気持ちも強く、日頃の老化対策としての雑多なる「作文」を適当に整理したものにすぎない。

平均寿命まで生きて、「これから」は「可能な限り」他人に迷惑をかけないように留意しながら、生き続けなければならないと自覚しての「出版のための整理作業」をしたまでのことである。

2015年10月15日